

17 旭が丘地区まちづくり協議会



▲旭まち協 役員の皆さん

(愛称)旭まち協では・・・

小中学校を中心に、生活面で必要な施設が充実している旭が丘地区には、若い世代から高齢者まで約13,000人が住んでいます。

地域住民が安心して快適に暮らせ、次の世代まで住みよいまちづくりを目指し、住民アンケート結果を踏まえて作成した『まちづくり計画』に基づき、役員や委員の皆さんが連携して取り組んでいます！



今回紹介するのはこの3つの事業！

旭まち協には、福祉や文化、安全などの各事業を効率的に進めるための4つの「部会」があります。今回は、そのうち生活福祉部、文化スポーツ部、安全部に焦点をあて、取り組みの一部を紹介します！

1 文化スポーツ部会

取組①「クリーン旭が丘の企画・開催」

文化スポーツ部では、小学校の土曜学習の一環として、毎年「クリーン旭が丘」と題し、地域一体での学校周辺の清掃活動を企画・実施しています。

今年度は約280人が参加し、家族間や子どもたち同士でゴミの分別について相談など活発な交流が見られました。

取組のきっかけ

世代間の交流を活性化することや、楽しみながらの健康づくりにつなげることを目的としています。クリーン旭が丘のほか、スポーツ活動やウォーキングも開催しています。

■参加者の声

友だちよりもたくさんゴミを集めるのが難しかったけど楽しかった！



子どもと通学路を歩くのは、平日ではできないので、いい経験でした。



▲参加者がゴミを分別する様子

2 生活福祉部会

取組②「住民の交流と支え合い」

実施・計画中の事業について

●旭お助け隊

支援会員と利用会員を募り、支援が必要な高齢者の外出や身の回りの手助け等の生活支援を行っています。

●ひまわりっこ・サロン活動

子育てや健康維持に関する同世代間の交流の場として、イベントや講演を交えて、定期的に開催しています。

●旭が丘こども食堂「おひさま」 **NEW**

こどもの居場所づくりとして、開設に向け準備中です。



▲サロン活動の様子



生活福祉部 部長
栗田 優子 さん

私が生活福祉部に参加したきっかけは、子育てが一段落した頃に見かけた広報誌でした。「旭お助け隊」が協力者を募っている内容で、地域の困りごとを地域で支えるという考え方に共感し参加してから約5年が経ちます。

人手不足や資金のやりくり、広報など課題はありますが、利用者からの「ありがとう！」「こういう事業があって助かる！」という言葉に励まされ、毎日ポジティブに過ごす原動力になっています。

3 安全部会

取組③「ゾーン30プラスの新設」

生活道路における歩行者の安全確保を目的に、**速度規制や路面の対策**を行う「ゾーン30プラス」の新設に向けて取り組んでいます。旭が丘小学校周辺の、見通しの悪い交差点や速度が出やすい道路を調査し、自治会や市と連携しながら、範囲の検討を進めました。

取組の背景

旭が丘地区には、信号の設置が無い交差点や見通しの悪い危険箇所が多く、既に白子中学校周辺で「ゾーン30」が設置されています。旭が丘小学校周辺も、住宅や交通量が増加してきました。周辺住民や学生の安全確保が課題となっており、早期実現を目指しています。



▲危険箇所を確認する安全部委員

通学路で登下校見守りをしていると、車両に不安を感じることがあります。各団体でしか認識していない危険箇所もあると思うので、安全部で共有して、地域にとってより良いゾーン30になるよう、検討していきます！



PTA役員さん